

環境学習

News

ニュース



発行: 茅ヶ崎市 環境部 環境政策課 平成30年度 11月発行

電話: 0467-82-1111(内線 1211)

Eメール: kankyouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

～環境フェア2018にご協力いただきありがとうございました～

10月20日(土)に「ちがさき環境フェア2018」を開催しました。スクールエコアクション発表会や梅田小学校古本回収プロジェクト(FKP)をはじめ、市内小中学校にご協力いただきました。

スクールエコアクション発表会

発表会の動画(DVD)の貸出ができます。ご希望の学校は環境政策課までご連絡ください。

平成25年から始まったスクールエコアクション発表会は今年で6回目となり、全ての中学校の発表が一巡しました。今年は第一中学校、鶴嶺中学校、松浪中学校の生徒たちが日頃の取り組みについて発表をしてくれました。各校の趣向を凝らした発表内容に、来場者も引き付けられる様に聞き入っていました。

3校が発表した後に、お互いの発表についての感想を発表しました。「自分の学校ではしていない取り組みが多くあり、今後取り組みたいと思う」という感想が多く聞かれました。今回の発表が互いの刺激にもなったようでした。発表校のみなさんありがとうございました。

◆第一中学校◆



発表内容

- ・ポスターについて
- ・ごみについて
- ・ペットボトルキャップについて

特徴のある取り組み

- ・牛乳を飲む際に使うストローと袋を各自持ち帰っている。ごみ減量につながっている。

◆鶴嶺中学校◆



発表内容

- ・校内の環境美化を整える
- ・節電ポスター
- ・地球の水不足について

特徴のある取り組み

- ・放課後清掃ボランティアを募り、整備委員会が中心になって校内の環境美化を推進している。
- ・水の大切さについて地球規模の視点で伝えている。

◆松浪中学校◆



発表内容

- ・エコキャップ回収による影響って何?
- ・エコに関するポスターを作ろう!
- ・エコに基づく係り「週番」って?

特徴のある取り組み

- ・生徒の環境意識向上のため「週番」として、一週間交代で全生徒がエコ活動にかかわっている。
- ・使い捨てコンタクトレンズケースを回収している。
- ・美術部やボランティアがポスター作りに携わっている。

梅田小学校古本回収プロジェクト (FKP)

今年で4回目となる「古本回収プロジェクト (FKP)」は、リユース（再利用）の活用促進と周知のため、梅田小学校とブックオフコーポレーション株式会社の御協力により実施している企画です。児童たちには、ポスター作成などの広報活動、環境フェア当日の古本回収ブースを運営していただきました。

集まった古本は**555冊**で、売却して得た売上金は**14,360円**でした。これらは市の「太陽光発電設備普及啓発基金」と「みどりのまちづくり基金」に寄付していただきます。後日贈呈式を行う予定です。その様子は改めてお知らせします。

→梅田小学校運営委員会のみなさんお手製の広報用ポスター



↑当日のようす



スクールエコアクション活動展

市内小中学校8校から、児童・生徒が作成した環境に関する作品を提供していただきました。

今年は10月15日から環境フェア当日まで、市役所1階市民ふれあいプラザに展示しました。

各学校の個性を活かした作品に多くの方が足を留めていました。



環境フェアにご協力いただきありがとうございました。
来年もよろしく願いいたします！



その他イベントいろいろ

環境フェアでは体験型イベントを中心に様々なイベントを開催し、多くの親子連れで賑わいました。来年もぜひ環境フェアにお越しになり、自分のできる「エコ」を見つけませんか。市HPでも当日の様子をご覧くださいませ。



↑参加型サイエンスショー



↑おもしろ環境教室



↑えぼし麻呂とエコクイズ大会



↑エコ体験コーナー

～ピックアップ記事～

民間等の外部に依頼して行う環境教室の現場取材しました。ぜひ皆様の学校でも民間等による環境教室を開催しませんか。今回取材した東京ガス㈱の他にも日本経済団体連合会（経団連）が取りまとめた「企業等の教育支援プログラム ポータルサイト」には無料で講師派遣できる講座が多く掲載されておりますのでご参照ください。

エコ・クッキングを行いました！

11月2日（金）に、東京ガス㈱神奈川西支店にご協力いただき、小和田小学校にてエコ・クッキングを行いました。エコ・クッキングは、身近な食生活からはじめるエコ活動です。環境を思いやりながら、「買い物」「調理」「食事」「片づけ」をすることです。今回は、野菜スープを作りました。



調理を行う前に、買い物、調理、食事、片づけの場面で、どうしたら環境に配慮できるかについて、東京ガス㈱の菅沼さんよりお話をお聞きしました。

地産地消を心がけること、食材をムダにしないこと、食べられる量を盛りつけること、生ごみは乾いた状態で捨てることなどがポイントです。



お話の後は、さっそく調理に入ります。

教わったポイントを意識しながら調理しました。



野菜スープが完成しました！

人参は皮ごと、キャベツは芯まで使用したので、ムダなく食材を使うことができました。



おいしく食べたあとは片付けです。

洗水桶を使用するなど、水を無駄にしないように気をつけながら片付けました。

★児童たちの感想★

- 普段食べない部分（捨てる部分）を食べることができた。
- 普段は水を適当に出して洗い物をしていたが、これからは水をためて洗い物をしたい。
- 改めてエコとはどういうものかわかった。
- ごみが少なくて良いと思った。

小和田小学校のみなさん、取材にご協力いただきありがとうございました！

